

ご挨拶



第3回日本糖尿病理学療法学会学術集会長

河辺 信秀

この度、2016年（平成28年）5月27日（金）、28日（土）、29日（日）に札幌コンベンションセンター、札幌市産業振興センターで第3回日本糖尿病理学療法学会学術集会を開催させていただきます。本学術集会は、単独開催であった過去2回とは異なる開催形式となります。日本理学療法士学会の各分科学会、各部門が連合して開催される第51回日本理学療法学術大会内での開催となります。

連合大会であるため、当学術集会単独でのテーマは設定しておりませんが、第51回日本理学療法学術大会としてのテーマは「理学療法のアイデンティティ - 基盤と分科 -」です。そこで、糖尿病理学療法の基盤を構築するという観点から、分子生物学的な視点から糖尿病患者の理解を目指すプログラムを準備いたしました。具体的には、糖尿病患者の筋骨格系への影響に関して、糖代謝、血管病変、骨代謝、筋機能、運動療法の効果など、様々な視点からのご講演をお願いしております。また、分科という視点では、糖尿病理学療法は血糖コントロールのための運動療法のみではなく合併症への介入へと分科が進みつつあります。そこで、運動機能や移動能力も低下する糖尿病足病変に対して、リハビリテーションはどんなことが可能であるのか、あるいは何が必要とされているのか、創傷治療の最前線にいる医師からの教育講演を企画しております。

大変素晴らしい時期の北海道での開催ですので、学会終了後も含めてご堪能いただけると思います。ぜひ、多くの方にご参加を頂けますようお願い申し上げます。